

「地方自治コイン」

(地方自治法施行 60 周年記念貨幣) の発行について



理財局国庫課
国庫企画官
田原 泰雅

5月13日の記者会見で
デザインを公表

1. はじめに

平成 19 年 11 月 20 日、東京国際フォーラムにおいて、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、地方自治法施行 60 周年記念式典が挙行了された。

額賀福志郎財務大臣

「福田総理とお会いしまして、今年が地方自治法施行 60 周年にあたることから、記念貨幣を発行してお祝いしたいということでご相談いたしました。47 都道府県ありますから、毎年 5 県ぐらいずつ、10 年間くらいで、地域の歴史だとか風物だとか文化だとか、そういったものをデザインした形で 60 周年を祝おうということだと思います。サミットが開かれますから、北海道など、サミットを記念した形で、そういう絵が出ていくと素晴らしいものになるのではないかと。地域再生も大きな政策目標であり、そういうことにも貢献されていくことが望ましいと思っています。」

増田寛也総務大臣

「切手もこれにあわせて出したい。貨幣と組み合わせることは初めてです。この絵柄も地域から色々出していただいて、決めていきたい。それぞれの地域でも、おらが切手、おらが貨幣ということで、皆さん関心も高まりますし、意気もあがると思うので、ちょうど地方自治 60 周年から 70 周年に向けて、色々地方に視線を向けていくということにふさわしいのではないかなと思っています。」

(平成 19 年 11 月 14 日記者会見 (一部省略))

これに先立つ11月14日、額賀福志郎財務大臣と増田寛也総務大臣が首相官邸で地方自治法施行60周年を記念して、平成20年より、47都道府県ごとのデザインをあしらった記念貨幣を順次発行することを発表した。これは、平成19年が、昭和22年5月3日に地方自治法が施行されてから60周年と大きな節目を迎え、内閣の重要課題として地域活性化への取組を強化していることから、新たな地方自治の時代における地域活性化という願いを込めて記念貨幣を発行することが、通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律第5条に基づく国家的な記念事業としてふさわしいとされたことによるものである。

(資料1) 地方自治法施行60周年記念貨幣の発行に関する会合

(敬称略)

板垣 信幸 (日本放送協会解説主幹)
 岩崎 慶市 (産業経済新聞社論説副委員長)
 潮田 道夫 (毎日新聞社論説委員長)
 岡村 正 (日本商工会議所会頭)
 奥 正之 (全国銀行協会会長)
 奥田 碩 (トヨタ自動車取締役相談役)
 角 紀代恵 (立教大学法学部教授)
 窪園 博俊 (時事通信社経済部編集委員)
 古賀 伸明 (日本労働組合総連合会事務局長)
 猿渡 純一 (共同通信社論説委員)
 残間里江子 (プロデューサー)
 平井 伸治 (鳥取県知事)
 増田 雅己 (読売新聞東京本社論説委員)
 宮田 亮平 (東京藝術大学学長)
 山本 容子 (版画家)
 ◎吉野 直行 (慶應義塾大学経済学部教授)

北村 憲雄 (郵便事業株式会社会長)

西原 篤夫 (造幣局理事長)

(注) ◎は座長

2. 地方自治法施行60周年記念貨幣の発行に関する会合

11月の発表を受け、記念貨幣の発行の枠組みについて検討をいただくため、12月18日と1月16日の2回にわたり、「地方自治法施行60周年記念貨幣の発行に関する会合」(座長：吉野直行慶応義塾大学教授。以下「記念貨幣会合」)(資料1)が開催された。記念貨幣会合においては、記念貨幣(切手)発行の考え方、貨幣の種類等、記念貨幣のデザインのイメージ、デザイン決定プロセス、発行スケジュールなどについて検討が行われた。

(1) 発行の考え方

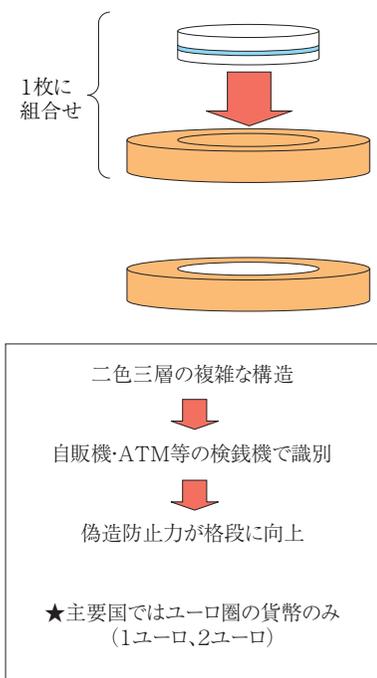
記念貨幣(切手)発行については、以下のよう
な考え方が確認された。

- 各都道府県が主体性を持ってデザインのコンセプトを決定することなどにより、地域の創意工夫を活かしながら、それぞれの地域の美しい風物や重要なイベントなどを織り込み、かつ国民に末永く愛される記念貨幣を、地方自治法施行60周年を契機に平成20年7月から平成28年度前半までの約8年間にわたり発行する。
- 記念貨幣と連携して郵便事業株式会社においても記念切手を発行する。
- これらの取組みにより、地方自治に対する国民の理解を深めるとともに、地域、そして日本を見つめ直す機会を作り、地域活性化に寄与する。

(2) 記念貨幣の種類・発行枚数

記念貨幣の種類については、金融機関において引換が行われる500円バイカラー・クラッド貨(資料2)と造幣局が直接販売を行う純銀製

(資料2) バイカラークラッド (二色三層構造) の概念図



のプレミアム千円銀貨の双方を発行することとされた。

日本における記念貨幣の発行は、昭和39年のオリンピック東京大会記念貨幣を最初として、以後、本年6月発行予定の日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念貨幣まで、29テーマ・52種類の記念貨幣が発行されている(資料3)。今回の記念貨幣については、47都道府県について2種類ずつとなることから、94貨種となり、これまでの記念貨幣の種類を上回る貨幣が発行されることとなる。

発行枚数についてみると、500円貨の発行枚数は、最近の500円記念貨幣の発行時に行っているように、金融機関に対する需要調査に基づき決定することとされた。また、千円貨の発行枚数は、直近の千円銀貨の応募倍率(需要動向)が発行枚数8万枚に対して8倍超となって

いることから、平成20年については発行枚数をここ5年間で最も発行枚数の多かった10万枚程度とし、その後は、需要動向や各都道府県の人口等を勘案しつつ、発行枚数を調整していくこととされた。

(3) デザインについての考え方・決定プロセス

デザインについては、「デザインガイドライン」(資料4)、「デザイン決定プロセス」(資料5)が了承された。表面である都道府県ごとのデザインとなる面については、貨幣の形状、字体など最低限のデザインの統一性は確保しつつ、デザインの選定にあたり各都道府県の創意工夫を尊重することとし、幅広く関心をもってもらえるよう、各都道府県の誇るその都道府県を代表するような風物、イベント等を織り込んだものとする事とされた。また、裏面である各都道府県共通面については、独立行政法人造幣局が製作したいいくつかの案が示され、会合における意見を踏まえ、更に造幣局が開催する「記念貨幣のデザイン等に関する検討会」において検討を行っていくこととされた。

(4) 発行スケジュール

発行スケジュールについては、全国知事会が行った各都道府県からの発行時期に関する希望状況を踏まえ、平成20年度の発行都道府県を、本年7月の洞爺湖でのG8サミットの開催地となる北海道、本年11月に「源氏物語千年紀記念式典」を開催する予定である京都府、平成19年7月に石見銀山が世界遺産に登録された島根県の3道府県とすることが決定された。また、平成21年度以降の発行順序については、記念貨幣会合のメンバーから構成される小会合において検討を行うこととされた。

(資料3) 我が国における記念貨幣の発行一覧 (発行年度順)

29 テーマ・52 種類

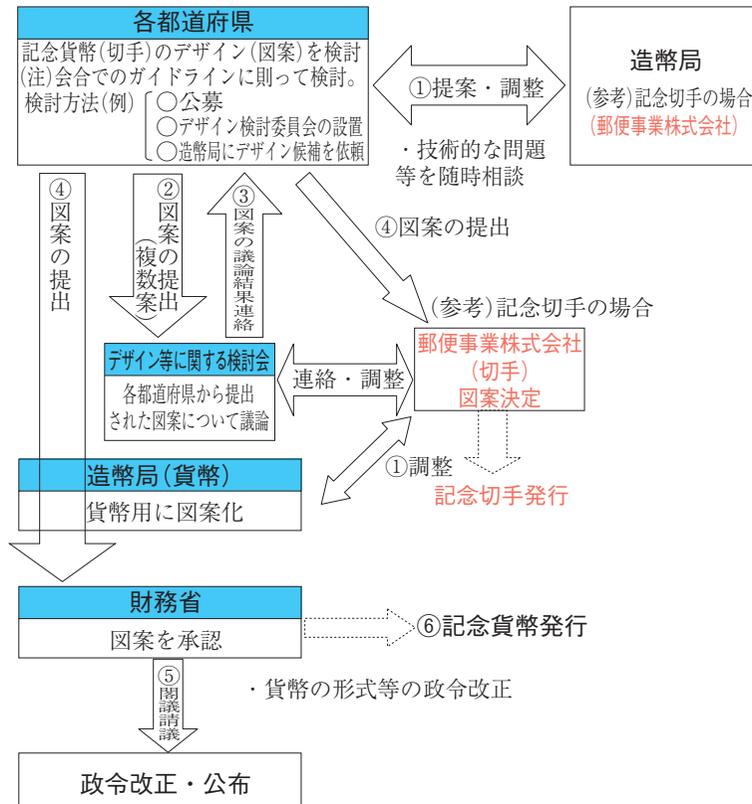
年度	記念貨幣の名称	額面	素材	直径	量目	発行枚数
昭39	オリンピック東京大会 〃	1,000	銀合金貨	ミリ 35.0	グラム 20.0	万枚 1,500
		100	銀合金貨	22.6	4.8	8,000
44	日本万国博覧会	100	白銅貨	28.0	9.0	4,000
46	札幌オリンピック冬季大会	100	白銅貨	30.0	12.0	3,000
50	沖縄国際海洋博覧会	100	白銅貨	22.6	4.8	12,000
51	天皇陛下御在位50年	100	白銅貨	30.0	12.0	7,000
59	国際科学技術博覧会	500	白銅貨	30.0	13.0	7,000
60	内閣制度創始100周年	500	白銅貨	30.0	13.0	7,000
61	天皇陛下御在位60年 〃 〃	100,000	金貨	30.0	20.0	1,100
		10,000	銀貨	35.0	20.0	1,000
		500	白銅貨	30.0	13.0	5,000
63	青函トンネル開通 瀬戸大橋開通	500	白銅貨	30.0	13.0	2,000
		500	白銅貨	30.0	13.0	2,000
平元	国際花と緑の博覧会	5,000	銀合金貨	30.0	15.0	1,000
2	裁判所制度100周年 議会開設100周年 天皇陛下御即位 〃	5,000	銀合金貨	30.0	15.0	500
		5,000	銀合金貨	30.0	15.0	500
		100,000	金貨	33.0	30.0	200
		500	白銅貨	30.0	13.0	3,000
4	沖縄復帰20周年	500	白銅貨	30.0	13.0	2,000
5	皇太子殿下御成婚 〃 〃	50,000	金貨	27.0	18.0	200
		5,000	銀貨	30.0	15.0	500
		500	白銅貨	26.5	7.2	3,000
6	関西国際空港開港 第12回アジア夏季競技大会(3種類)	500	白銅貨	26.5	7.2	2,000
		500	白銅貨	26.5	7.2	3,000
8	長野オリンピック冬季競技大会(1次) 〃 〃	10,000	金貨	26.0	15.6	5.5
		5,000	銀合金貨	30.0	15.0	500
		500	白銅貨	26.5	7.2	2,000
9	長野オリンピック冬季競技大会(2次) 〃 〃	10,000	金貨	26.0	15.6	5.5
		5,000	銀合金貨	30.0	15.0	500
		500	白銅貨	26.5	7.2	2,000
9	長野オリンピック冬季競技大会(3次) 〃 〃	10,000	金貨	26.0	15.6	5.5
		5,000	銀合金貨	30.0	15.0	500
		500	白銅貨	26.5	7.2	2,000
11	天皇陛下御在位10年 〃	10,000	金貨	28.0	20.0	20
		500	白銅貨	26.5	7.2	1,500
14	ワールドカップサッカー大会 〃 〃 (3種類) 第5回アジア冬季競技大会	10,000	金貨	26.0	15.6	10
		1,000	銀貨	40.0	31.1	10
		500	ニッケル黄銅貨	26.5	7.0	3,000
15	奄美群島復帰50周年 〃	1,000	銀貨	40.0	31.1	5
		500	ニッケル黄銅貨	26.5	7.0	824万1千枚
16	2005年日本国際博覧会 〃 〃 中部国際空港開港	10,000	金貨	26.0	15.6	7
		1,000	銀貨	40.0	31.1	7
		500	ニッケル黄銅貨	26.5	7.0	824万1千枚
18	国際連合加盟50周年 南極地域観測50周年	1,000	銀貨	40.0	31.1	7
		500	ニッケル黄銅貨	26.5	7.0	660
19	2007年ユニバーサル技能五輪国際大会	1,000	銀貨	40.0	31.1	8
20	日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年	500	ニッケル黄銅貨	26.5	7.0	480

(資料4) デザインガイドライン

〈貨幣デザイン作成上の考え方〉

- (1) デザインの作成にあたっては、各都道府県の創意工夫を尊重することとする。
 - (2) デザインは、他の県でも関心の持たれる、ある程度だれもが知っている都道府県を代表する風物、イベント等を採用することとし、品位ある記念貨幣として相応しいものとする。
 - (3) 末永く愛されるデザインとする。
 - (4) 次のものはデザインとして採用しないものとする。
 - ① 政党その他の政治団体、宗教に関連するもの（ただし、歴史的、文化的又は美術的な価値を有するものその他貨幣のデザインとすることにつき、広く国民の理解を得られるようなものは除く。）
 - ② 特定の企業の営利活動を目的とするもの
 - ③ 個人、団体の名誉を傷つけるおそれがあるもの
 - ④ 国の利益や他国または国際機関との信頼関係が損なわれるおそれがあるもの
 - ⑤ 特定の人物をモチーフとするもの（ただし、国民に広く親しまれ、歴史的にもその評価が定まっている人物を表象するものは除く。）
 - ⑥ 公序良俗に反するおそれがあるもの
 - ⑦ その他通貨の信用又は品位を損なうおそれがあるもの
 - (5) 全都道府県のデザインの一貫性を著しく損ねるようなデザインは避ける。
- (注1) 記念の切手におけるデザイン作成上の考え方についても、上記に準ずるものとする。
 (注2) 貨幣の表面は、都道府県ごとのデザインとなるが、裏面は、全都道府県共通の仕様となる。

(資料5) 記念貨幣のデザイン決定プロセス (概要)



3. 記念貨幣の詳細について

額賀福志郎財務大臣

本日の閣議におきまして、地方自治法施行60周年記念貨幣第1号となる北海道分の貨幣の図柄について、この度決定いたしました。

まず、千円貨幣の図柄につきましては、表面は、本年7月にサミットが開催される洞爺湖と北海道の鳥であるタンチョウを圖案化しております。タンチョウは、地元の手厚い保護の結果、絶滅の危機から脱し、生息数が千羽を超えるに至っており、北海道が誇る自然環境保護活動の象徴となっているわけでございます。また、各都道府県共通の図柄である裏面には、日本の四季の代表的な自然美であります雪月花を圖案化しております。

次に五百円貨幣の図柄につきましては、表面は、洞爺湖と国の重要文化財に指定されております北海道庁旧本庁舎を圖案化しております。また、同じく各都道府県共通の図柄である裏面には、古銭のイメージを圖案化し、地方自治の4文字を力強く配しております。

千円貨幣につきましては、7月に開催される洞爺湖サミットに合わせ発行する予定としております。また、五百円貨幣については、20年度に発行予定の京都府及び鳥根県分の五百円貨幣と合わせまして、本年12月頃に金融機関で引き換えを予定しているところであります。

閣議後、総理にこの報告をさせていただきました。洞爺湖サミットの各国の代表者の皆さん方にも、この千円貨幣、五百円貨幣をお配りして、そして環境問題とか、それから洞爺湖サミットの意義について、各国の皆さん方によく考えていただく1つの記念の事業としてやらせていただきたいということで、それで総理も、是非そうして欲しいということでした。それでどういうケースで各国の皆さん方にお配りするとか、そういうことについて議論をさせていただきました。それで総理の判断で、ヒノキの間伐材を使ったケースを作って、そこで日本の漆塗りを施して、この貨幣を納め

る記念の箱を作ろうということになったところですよ。

(平成20年5月13日記者会見(一部省略))

5月13日(火)の閣議において、7月より発行される北海道の記念貨幣のデザイン等について政令改正が行われ、閣議後の記者会見において北海道の記念貨幣のデザインその他の発行に関する詳細が発表された(資料6)。また、同日、郵便事業株式会社より、貨幣と連携した記念の切手の図柄について報道発表があった(資料7)。

(1) 記念貨幣のデザイン

第一号となる北海道をテーマとした記念貨幣のデザインのうち、表面については、「デザイン決定プロセス」に従い、北海道より提案されたモチーフが採用されている。また、裏面については、記念貨幣会合における検討を踏まえ、造幣局の「記念貨幣のデザイン等に関する検討会」(座長：宮田亮平東京藝術大学学長)(資料8)においてデザインの原案が策定された。いずれについても造幣局デザイン・チームが丹精を凝らして作成したデザインがもととなっている。

① 千円銀貨

千円銀貨の表面には、本年の国際的な重要行事である「北海道洞爺湖サミット」の開催を末永く国民の記憶にとどめてもらえるよう、洞爺湖のイメージを背景とし、北海道の鳥であるタンチョウが北海道の広大な大空を飛ぶデザインが採用された。タンチョウは、学名は *Grus japonensis*、すなわち「日本鶴」、であり、日本に生息する唯一のツルで、日本では北海道の釧路湿原などに主に生息する。昭和27年、国の天然記念物に指定されており、昭和39年、

(資料6)「地方自治法施行60周年記念貨幣(北海道分)」概要

1. 千円銀貨幣

額 面	千 円
素 材	銀
品 位	純 銀
量 目	31.1グラム
直 径	40ミリメートル
彩 色	白色、黒色、青緑色、 水色、赤色及び緑色
その他の特徴	斜めギザ、潜像等
発 行 枚 数	10万枚
販 売 予 定 時 期	平成20年7月頃
販 売 価 格	6,000円

- (注)1. 当該記念貨幣は、彩色を施した、カラーコインです。
 2. 当該記念貨幣は、金融機関等の窓口における引換えは行われず、独立行政法人造幣局が、額面価格及び製造費用を下回らない価格で販売する、プレミアム型の記念貨幣です。

表面



『洞爺湖とタンチョウ』

裏面〈各都道府県共通〉



『雪月花』

2. 500円バイカラー・クラッド貨幣

額 面	5 百 円
素 材	ニッケル黄銅、白銅 及び銅
品 位	銅75%、亜鉛12.5%、 ニッケル12.5%
量 目	7.1グラム
直 径	26.5ミリメートル
その他の特徴	斜めギザ、潜像等
発 行 枚 数	(今後政令で定める)
引換予定時期	平成20年12月頃

- (注)1. 当該記念貨幣は、平成20年度に発行予定の京都府及び鳥根県分の500円貨幣とあわせて、金融機関等の窓口において額面価格により引換えを行います。
 2. 当該記念貨幣の発行枚数については、取扱い金融機関等の希望枚数等を踏まえ、今後政令で定めます。

表面



『洞爺湖と北海道庁旧本庁舎』

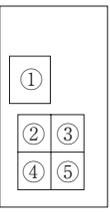
裏面〈各都道府県共通〉



『古銭のイメージ』

(資料7) 記念の切手「地方自治法施行60周年記念シリーズ 北海道」の概要

1 発行する切手の内容

名 称	地方自治法施行60周年記念シリーズ 北海道	
発 行 日	平成20年7月1日(火)	
種 類	80円郵便切手	
シート構成・ 意匠		① 洞爺湖とタンチョウ ② 五稜郭 ③ 美瑛の風景 ④ クリオネ ⑤ 小樽の風景 ※①は千円記念貨幣を基にデザインしたものです。 1シート5枚/※1枚から販売します。
写真撮影者	② :黒田 績生 ③ :前田 晃 ④ :関 勝則 ⑤、背景:後藤 昌美	
印 面 寸 法	① :縦36.0mm×横30.0mm ②～⑤ :縦30.5mm×横25.0mm	
小 切 れ 寸 法	① :縦39.0mm×横33.0mm ②～⑤ :縦33.5mm×横28.0mm	
シ ー ト 寸 法	縦175.0mm×横93.5mm	
版 式 刷 色	グラビア6色	
発 行 枚 数	1,500万枚(300万シート)	
デ ザ イ ン	かねまつ ふみあき 兼松 史晃(切手デザイナー)	

2 発行する郵便切手のデザイン等

【デザインについて】

- ①洞爺湖とタンチョウ
 本年(2008年)に開催される「北海道洞爺湖サミット」の会場となる洞爺湖の遠景と北海道の鳥であるタンチョウ。
 千円記念貨幣の図柄を基に、デザイン化した切手。
- ②五稜郭
 函館市にある江戸時代末期に建造された星型の城郭。
- ③美瑛の風景
 美しい景観の「丘の町」として知られる美瑛町の風景。
- ④クリオネ
 流水が接岸する知床半島周辺などで多く見られる巻貝の一種。
- ⑤小樽の風景
 小樽市を流れる小樽運河を臨む風景。
- 背景
 北海道の鳥「タンチョウ」。



資料提供：郵便事業株式会社

(資料8)「記念貨幣のデザイン等に関する検討会」メンバー

(敬称略)

- 池田 政治 東京藝術大学教授
 中川 衛 金沢美術工芸大学教授、重要無形文化財保持者
- ◎宮田 亮平 東京藝術大学学長
 山本 容子 版画家
- 森田 基治 郵便事業株式会社 切手デザイン担当部長
 財務省理財局国庫課長
 総務省自治行政局行政課長
 都道府県責任者
- (注) ◎印は、座長。

北海道の鳥として指定された。タンチョウは、地元の手厚い保護の結果、絶滅の危機から脱し、生息数が千羽を越えるに至っており、北海道が誇る自然環境保護活動の象徴となっている。

共通面である裏面については、四季の変化が日本人の感性に大きな影響を与え独自の生活様式や文化を育んできたこと、また、日本の自然環境は地形や気候の変化が大きく豊かで多様性に富んでおり、日本の各地方・地域はその自然環境に即しながら発展してきたことから、日本の四季の代表的な自然美である「雪月花」がデザイン化された。このデザインでは、「雪」と「月」と「花」(桜)が環状に循環するように構成され、地方公共団体の行政・経済・文化などが好循環により健全に発展することが表現されている。

② 500円バイカラー・クラッド貨

500円バイカラー・クラッド貨の表面には、千円と同様に洞爺湖のイメージを背景とし、北海道庁旧本庁舎正面と前庭を組み合わせたデザインとされた。北海道庁旧本庁舎は、明治21年に建築され、平成20年で120周年を迎える。北海道の観光名所となっており、「道庁赤れんが庁舎」「赤れんが」の愛称で、道民にも親しまれている。地上2階地下1階のネオ・バロック様式の建物には地元で作られた約250万個の赤レンガが使用され、昭和44年に国の重要文化財に指定されている。また、前庭には北海道の木である「エゾマツ」が描かれている。

共通面である裏面については、「古銭のイメージ」が採用された。古来より貨幣は経済活動のみならず日本の政治や文化の発展に大きな役割を果たしてきた。平成20年は日本の代表的な鑄銭とされる「和同開珎」が最初に鑄造されて1300年に当たるとされており、古銭のも

つ魅力的な外形をモチーフに「地方自治」の4文字を力強く配し、民主的な地方行政と未来の社会に貢献する新しいコインプログラムを表現しようとするものである。

(2) 発行枚数及び販売・引換え

千円銀貨については、10万枚がプレミアム貨幣として、造幣局から販売される。5月21日に造幣局より発表された販売案内によれば、6月11日にかけて購入希望者の受付を行い、7月中旬から発送が開始される予定となっている。販売価格は、単体の場合6千円、記念切手とのセットの場合7千800円等とされている。なお、このうち1万枚については海外向けに販売されるほか、サミット関係者への贈呈等も予定されている。また、販売に伴う利益の半額相当(発行枚数10万枚の場合、3,500万円)が地域活性化のための交付金として発行対象都道府県に交付される予定である。

500円バイカラー・クラッド貨については、今後金融機関・郵便局に対する需要調査が行われ、その結果を踏まえて、12月に、京都府・島根県の500円貨とともに、各金融機関・郵便局において引換えが行われる予定である。

(3) 偽造防止対策について

先に述べたように、バイカラー・クラッド貨については、その構造自体に偽造抵抗力があるところであるが、対面行使における偽造を防止する観点から、更に以下のような視認性による偽造防止策が採用されている。

① 異形斜めギザ

斜めギザは、平成12年の500円通常貨の改鑄に際し、大量生産型貨幣では世界で初めて導入された。斜めギザは、偽造対策上有効である

とされてきており、「ハリケーン・ミル」などと呼ばれ、海外の造幣局からも高い関心を集めている。

6月に発行される「日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念貨幣」においては、斜めギザの間隔が場所により異なる「異形斜めギザ」が初めて導入される予定であり、今回の500円バイカラー・クラッド貨についても、この技術が活用される。

② 潜像加工

500円通常貨には、上方向に傾けると「500円」の文字が、下方向に傾けると縦線が現れる潜像加工が施されている。今回の記念貨幣においては、千円銀貨では、最も大きな雪の結晶の中心に、500円バイカラー・クラッド貨では、古銭のイメージの「穴」に当たる部分に、上方向に傾けると「47」の文字が、下方向に傾けると「60」の文字が現れる潜像加工が施される。

(4) 今後の予定

本年度後半の発行となる京都府と鳥根県においては、それぞれデザインの策定に向けた検討が進められている。

京都府においては、先述のとおり「源氏物語千年紀記念式典」にちなんで発行となることから、源氏物語絵巻をテーマとしたデザインを検討しており、千円銀貨については、記念式典の開催される11月1日に先立ち、10月頃発行される予定である。

鳥根県においては、溝口善兵衛知事等七名から構成されるデザインについての検討会が2月25日と3月11日に開催された。鳥根県ホームページでの意見募集も行ったうえで、3月11日の検討会において千円銀貨については毛利元就が正親町（おおぎまち）天皇に献上した「御取

納（おとりおさめ）丁銀」と鳥根県の花である「ボタン」、500円バイカラー・クラッド貨については加茂岩倉遺跡から出土した「銅鐸」がデザイン案として選ばれた。千円銀貨については、12月頃発行される予定である。

これらの図案については、引き続き造幣局のデザイン検討会等との間における検討等が行われ、夏頃までに最終決定される予定である。

4. 海外における「地方自治コイン」

(1) アメリカ

アメリカにおいては、1999年より、50州をテーマとした25セント貨幣が、「ステート・クォーターズ」(State Quarters)の愛称のもと、毎年5枚ずつ発行されており、今年最後の5州分が発行される予定である。この間、通常の「イーグル」25セント貨幣の製造は中止されており、代わって、州毎の図柄の25セント貨幣が4億枚（オクラホマ州。2008年1月発行）から16億枚（バージニア州。2000年10月発行）、年間発行数では、16億枚（2007年）から65億枚（2000年）発行されている。ステート・クォーターズについては、アメリカ記念貨幣史上、もっとも成功した例であるとされ、1億人を超えるアメリカ人が収集しているとも言われている。（資料9）

(2) ヨーロッパ

ユーロ貨幣は、共通面にヨーロッパの地図が描かれ、国別の面には各国毎に特徴のあるデザインが描かれている。2008年1月にはキプロスとマルタがユーロ圏に参加し、それぞれの特徴を活かしたデザインが加わったところである（資料10）

(資料9) アメリカで2008年発行予定(5州)のステートクォーターズの共通面・州面



共通面

オクラホマ

ニューメキシコ

アリゾナ

アラスカ

ハワイ

出所：アメリカ合衆国造幣局ホームページ

(資料10) キプロス及びマルタのユーロ・コイン



2ユーロ、1ユーロ	ポモスの神像	マルタ十字
-----------	--------	-------



50セント、20セント、10セント	キレニア船 (古代の貿易船)	マルタ国章
-------------------	-------------------	-------



5セント、2セント、1セント	ムフロン (キプロスの野生のヒツジ)	ムナイドラ神殿
----------------	-----------------------	---------

出所：欧州中央銀行ホームページ

(資料11) ドイツ4連邦州の国別面



① シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州 (2006年)

② メクレンブルク=フォアポンメルン州 (2007年)



③ ハンブルグ州 (2008年)



④ ザールラント州 (2009年)

出所：ドイツ連邦銀行ホームページ

また、各国年間1枚の記念2ユーロ貨幣を発行できることから、ドイツにおいては、16連邦州をテーマとした「ドイツ連邦共和国連邦州シリーズ」記念貨幣の発行が行われている。これまでに①シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州(2006年)、②メクレンブルク=フォアポンメルン州(2007年)、③ハンブルグ州(2008年)の記念貨幣がそれぞれ3000万枚発行されており、④2009年にはザールラント州の記念貨幣が発行される予定である。(資料11)